

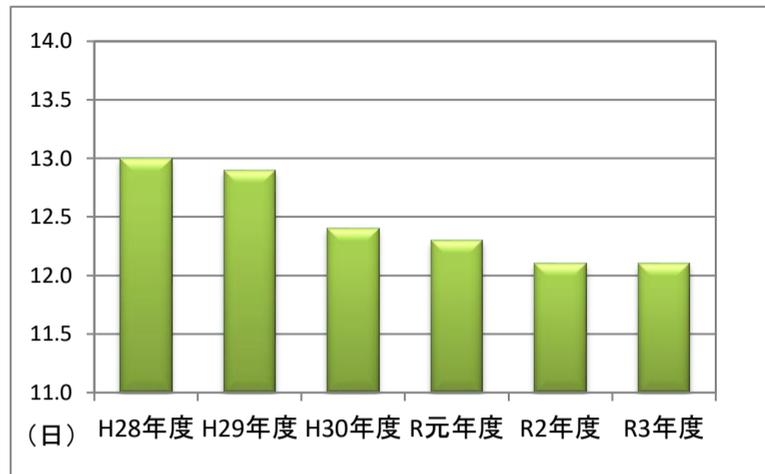
臨床指標

臨床指標は、医療の質を具体的な数値として示したものです。これにより医療の質を客観的に評価することが可能となります。

1. 一般病床平均在院日数

病院の入院治療機能を見るための1つの指標で、当院に入院してから退院するまでの期間が平均でどれくらいかを表しています。

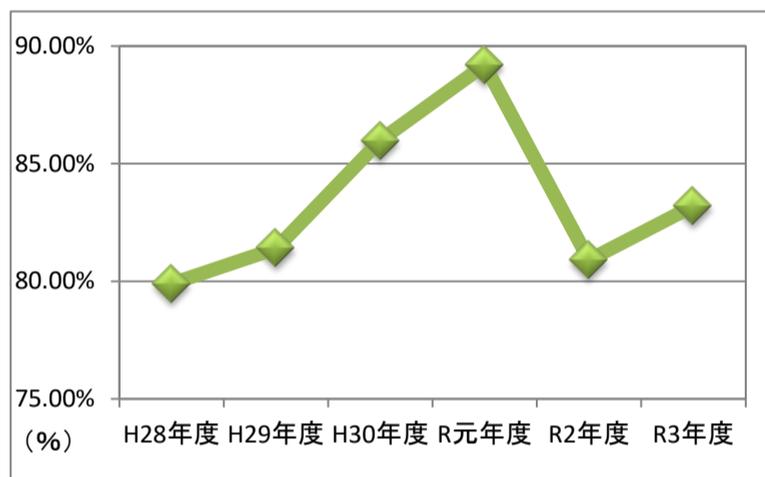
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
13.0日	12.9日	12.4日	12.3日	12.1日	12.1日



2. 病床利用率

当院の病床がどの程度、効率的に稼働しているのかを表しています。

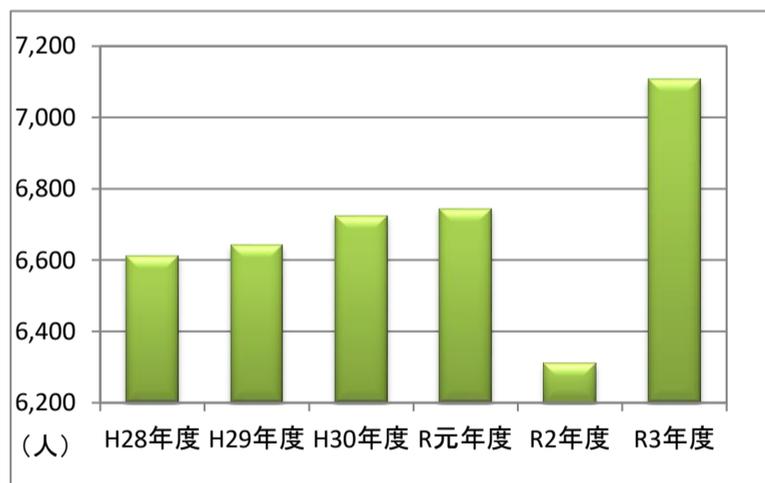
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
79.9%	81.4%	86.0%	89.2%	80.9%	83.2%



3. 救急車来院患者数

当院に救急車で搬入された患者数を表しています。

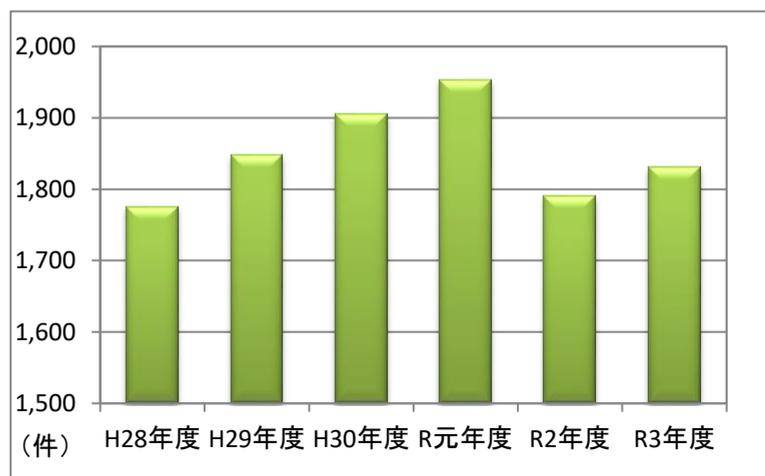
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
6,611人	6,643人	6,725人	6,745人	6,311人	7,108人



4. 手術件数(全身麻酔)

当院の手術室で、全身麻酔による手術を実施した件数を表しています。

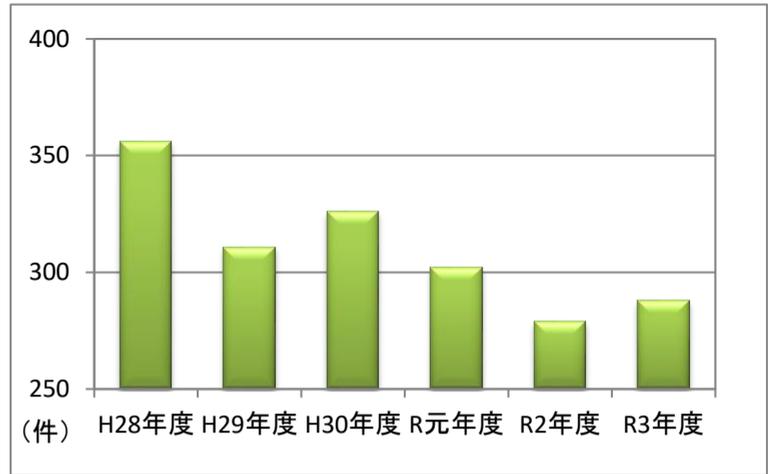
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
1,776件	1,848件	1,906件	1,954件	1,791件	1,831件



5. 分娩件数

当院で分娩された件数を表しています。

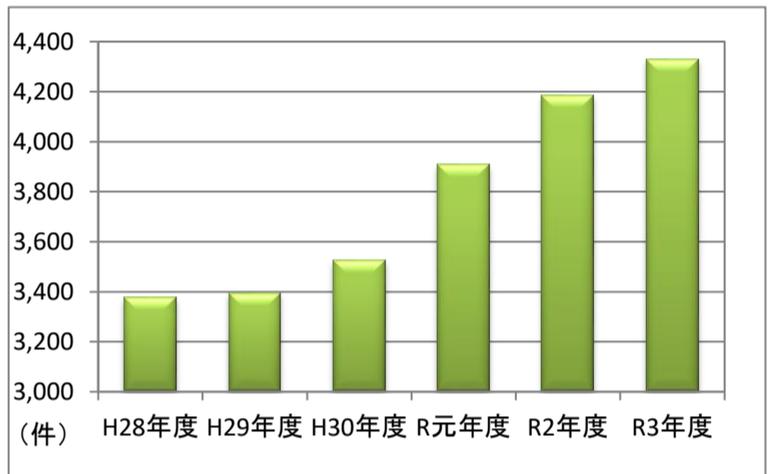
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
356件	311件	326件	302件	279件	288件



6. 外来化学療法件数(延べ患者数)

外来で化学療法(抗がん剤治療)を受けられた延べ患者数を表しています。

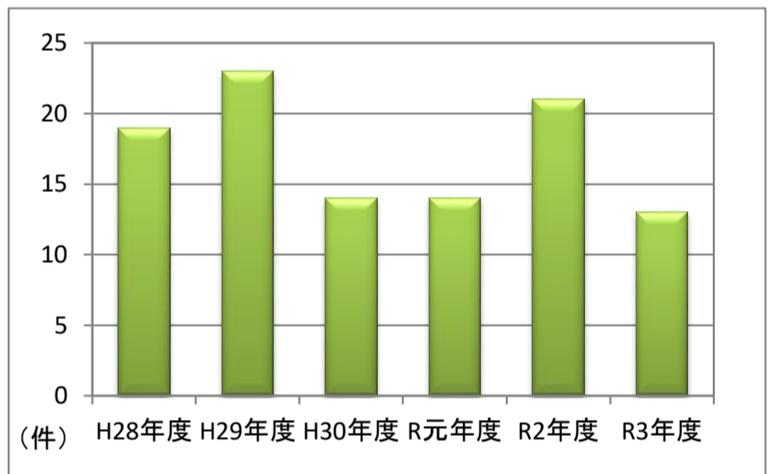
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
3,378件	3,397件	3,526件	3,909件	4,186件	4,331件



7. 転倒・転落レベル3以上発生件数

入院患者の中でレベル3(損傷の程度が中軽度のもの)以上の転倒・転落が発生した件数を表しています。

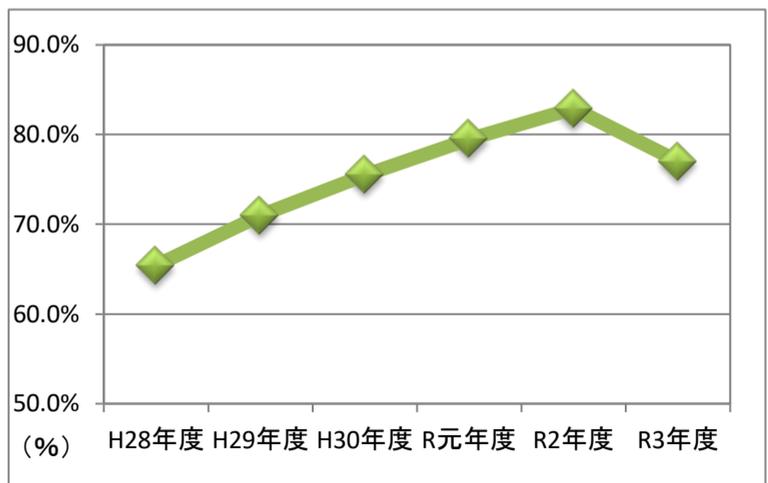
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
19件	23件	14件	14件	21件	13件



8. 紹介率

当院に初診で来る患者に対して、紹介受診、救急受診する患者の割合を表しています。

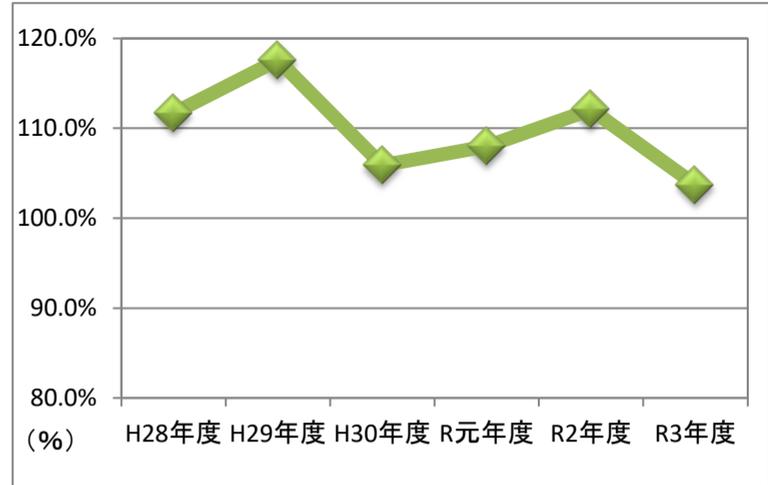
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
65.4%	71.0%	75.5%	79.5%	82.9%	77.0%



9. 逆紹介率

検査が終わったり、治療が一段落したりした患者の利便性等を考慮し、かかりつけ医への紹介(逆紹介といいます)を行った患者の、当院に初診で来た患者に対する割合を表しています。

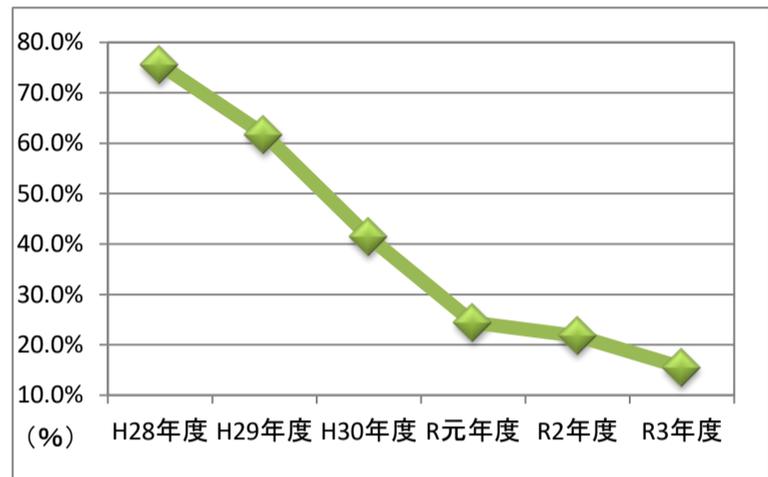
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
111.7%	117.6%	105.9%	108.0%	112.1%	103.7%



10. オープン病床利用率

当院の登録医である入院患者のかかりつけ医と当院の医師が、共同して患者の治療を行える病床の利用率を表しています。

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
75.6%	61.7%	41.4%	24.4%	21.7%	15.5%

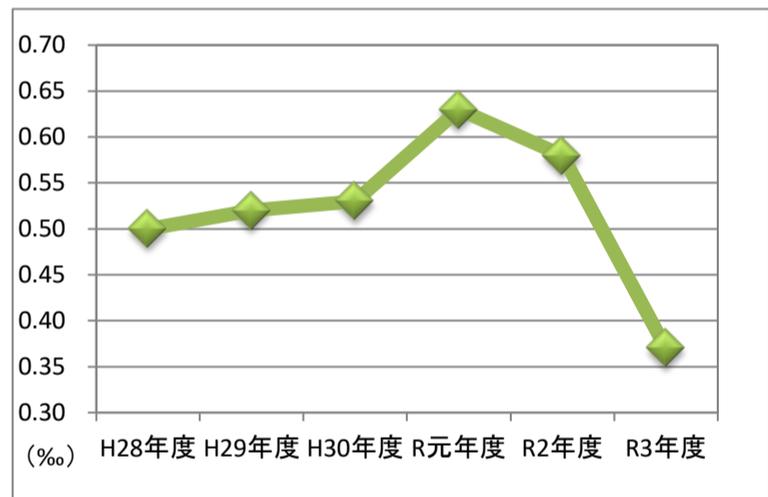


11. MRSA新規感染率

MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)の新規感染率を表しています。

※新規感染率(‰) = 新規院内MRSA患者数 / 延べ入院患者数 × 1000

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
0.50‰	0.52‰	0.53‰	0.63‰	0.58‰	0.37‰



12. 看護学生の実習受け入れ人数

看護実習生(看護学校の学生のみ)の年間受け入れ延べ人数を表しています。

※ 令和2年度は、コロナ禍のため看護学校からの辞退あり

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
6,332人	7,267人	7,389人	7,560人	4,862人	7,125人

